三重県総合税システム設計、機器調達、構築、データ移行・導入、運用・保守業務 機能仕様書

機能資料４　機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

令和９年●月

三重県総務部税務企画課

本資料は、機能要件における提案依頼項目に関連する業務のうち、現行の作業手順が複雑である等、説明のため図解が必要と判断したものについて、作業手順をフロー図に反映したものである。
現行の作業手順及び課題の詳細については、「機能資料３　機能要件における提案依頼項目の詳細」を参照すること。

＜目次＞　機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機02　EUCによるデータ抽出・集計　・・・

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機02　EUCによるデータ抽出･集計

国・他団体ほか

本庁・事務所

電算班・システム

Step 0
照会

Step 1
抽出依頼

※EUC抽出・集計
機能がない

Step 2
依頼受付

Step 3
抽出・集計

Step 4
回答作成

Step 5
回答受領

電算班作業

SE作業依頼

現行課題⑤
総務省「課税状況調」について、帳票が対応できていないケースが多々あり、毎年SE作業が発生している。

現行課題④
現行は利用者自身がデータ抽出機能を利用しておらず、研修もないため、EUC機能として利用するためのハードルがある。

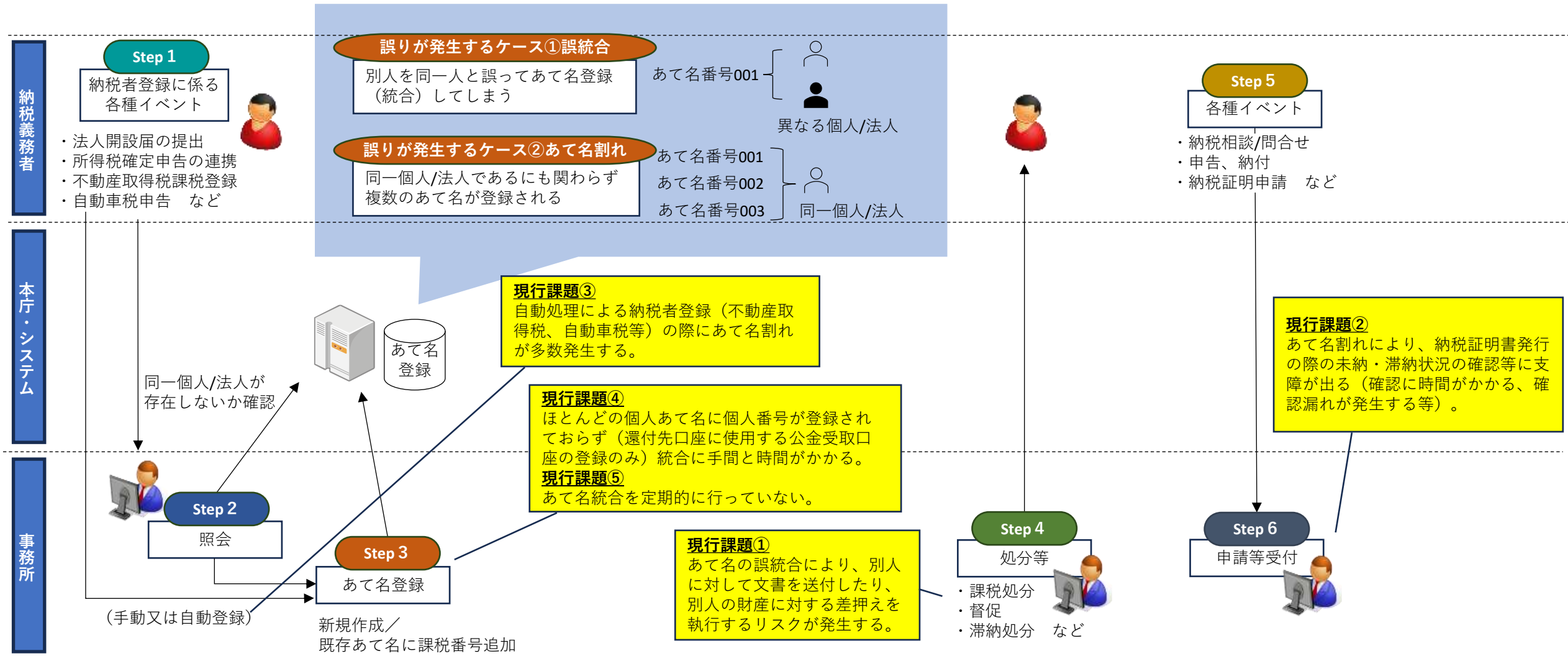
現行課題①
現行のEUC機能（データベース照会）は、セキュリティ上の制約から使用できる職員を限定している（電算班職員のみ）。

現行課題②③
現行のEUC機能（データベース照会）はSQLの知識が要求され、場合によってはSEのサポートを受けるため作業工数が発生する。

© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機05　あて名の誤統合及びあて名割れの防止



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機06　収納消込

現行課題④
窓口納付に対して、収納データが即時に登録されないため、証明書の強制発行や手作業での書状差止めを行う必要がある。

現行課題①
法人二税は申告入力されるまで消込できず、消込エラーが蓄積されていく。

現行課題②
被合併法人に係る法人二税申告と納付が正しく紐づけできず、消込先の誤りによる誤った還付や督促を行う事例が発生している。

法人・金融機関等

Step 0
申告書の提出、納付（金融機関・県税窓口、共通納税）

指定金融機関

収納データ

自動消込された

本庁・システム

Step 2
収納消込（夜間処理）
※収納データと課税データが一致するものを自動消込

収納消込エラーリスト

自動消込ができなかった

Step 3
エラーリスト作成
→配信（電算班;収納消込担当）

Step 4
エラーリスト確認
※電算班担当者が目視確認のうえ消込先を判断

Step 6
還付・充当処理
督促状作成等

督促状作成

還付・充当処理

月次決算

消込処理

Step 5
収納消込（手作業又は夜間処理）
※月次決算までに課税情報の入力がない場合は、仮の課税データ（特定納税者）を登録して消込を行う

県税事務所

Step 1
課税データ（申告書）の入力

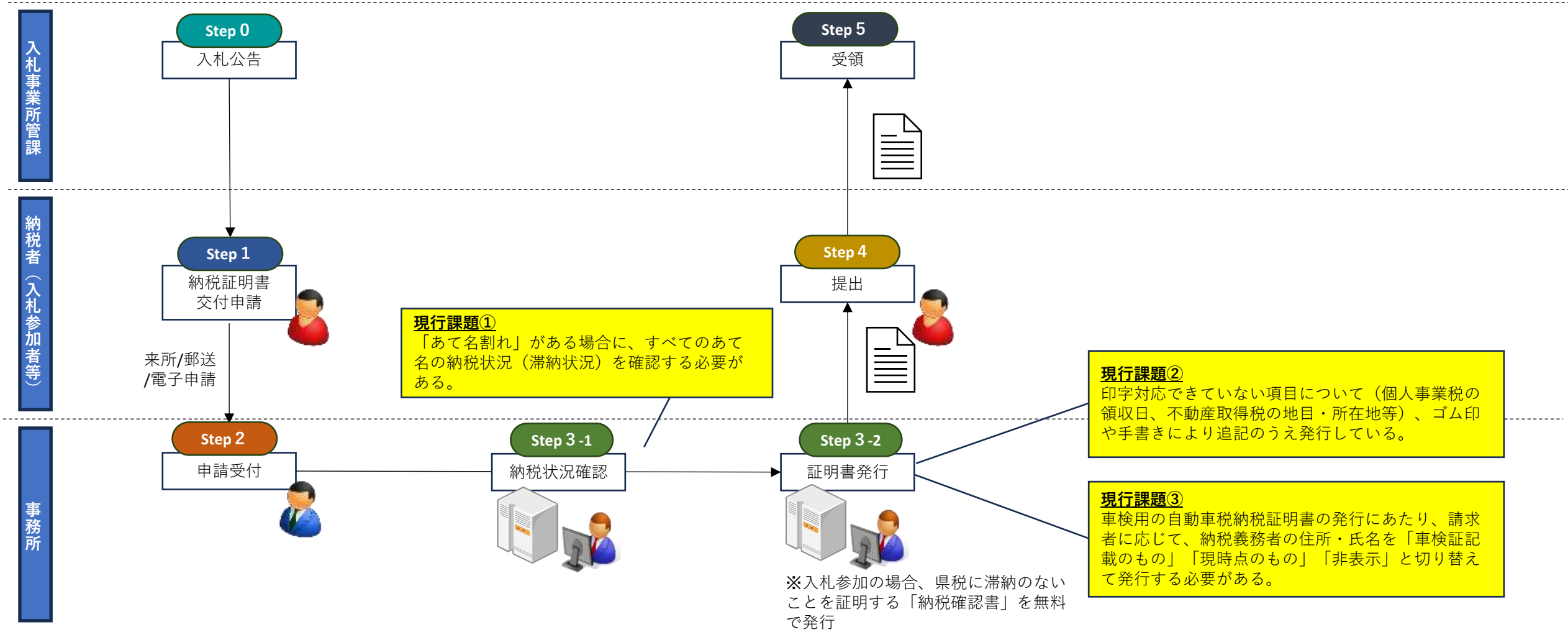
課税データ

現行課題③
月次決算までに申告入力がされない場合、仮の課税データ登録→収納消込→申告入力後に収納付替えの手間が発生する。

© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

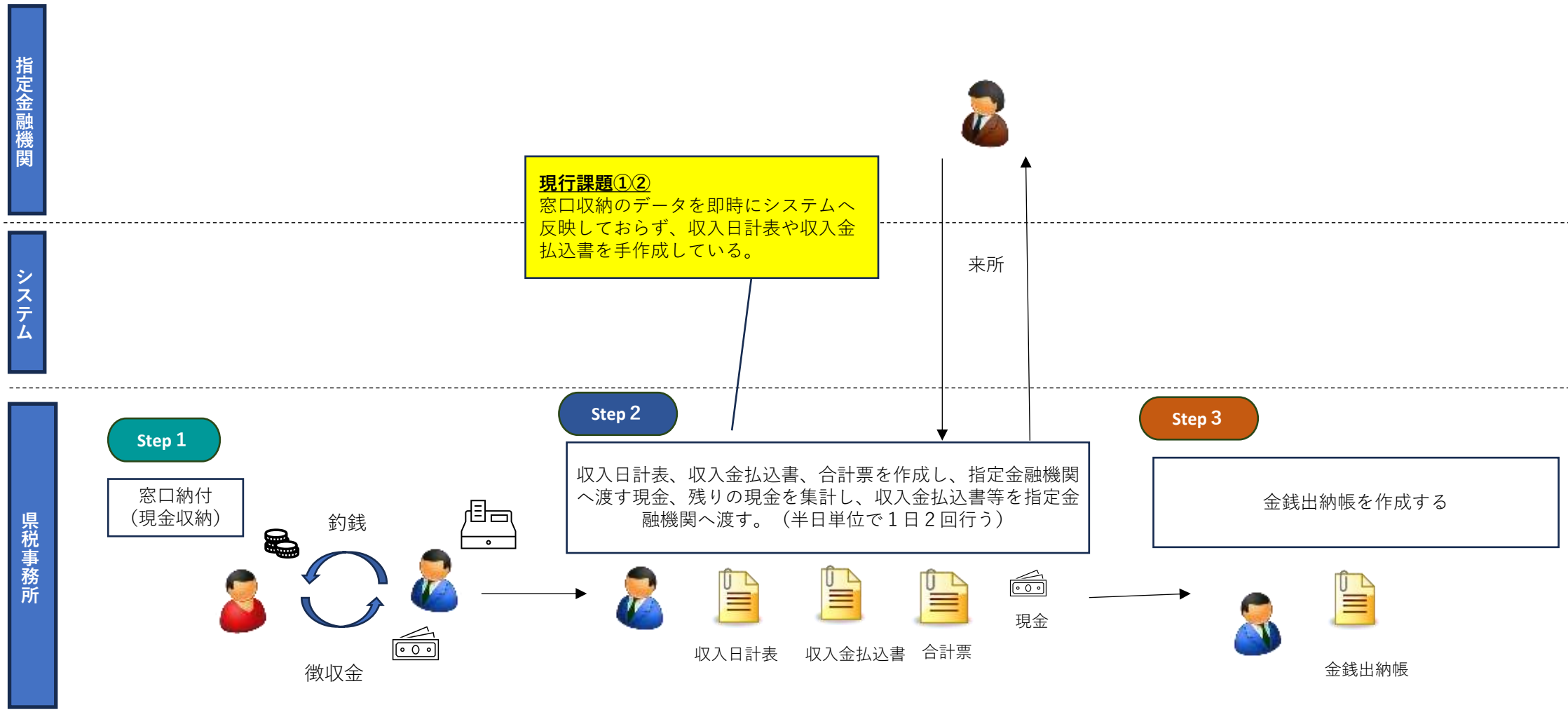
機07　納税証明書等発行



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機08　窓口収納



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

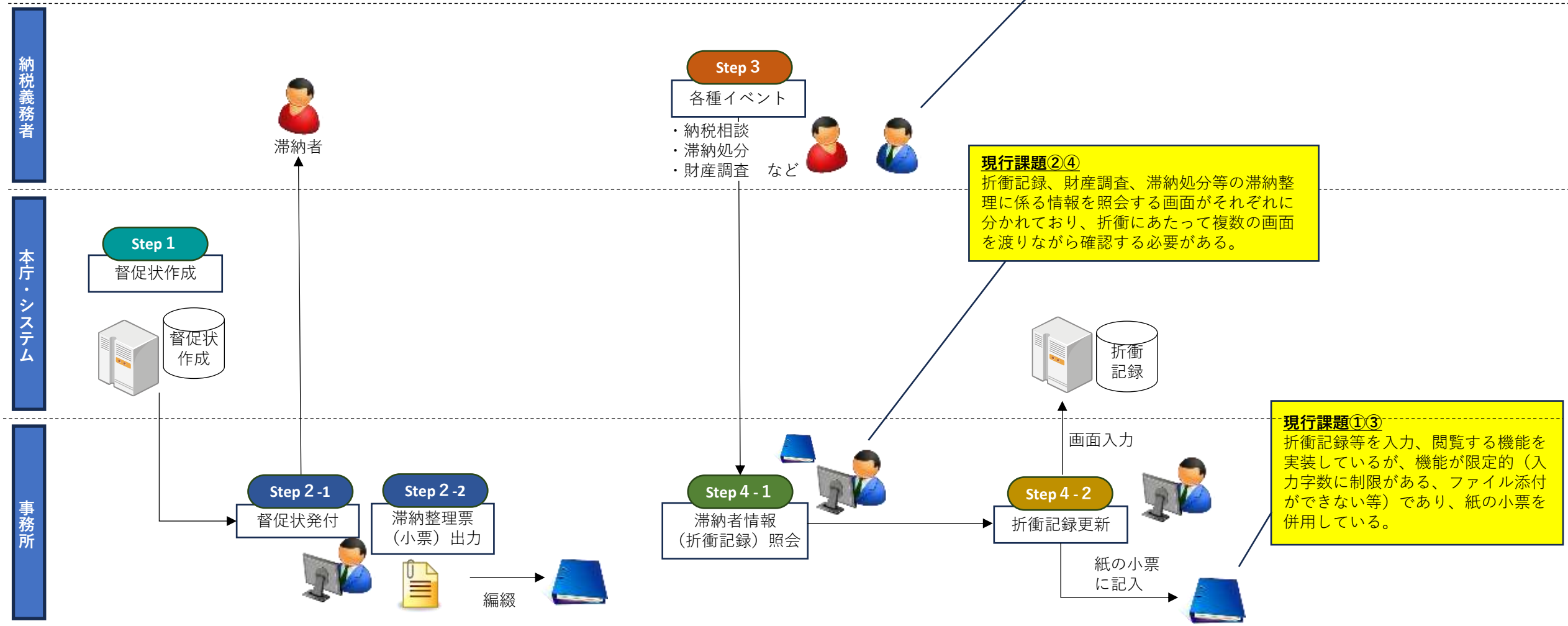
機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機09　滞納者情報管理

現行課題③
徴収担当は年単位で異動するうえ、業務経験の浅い職員が担当することもあり、一貫・継続した対応が困難（検索性の高い資料が必要）。

現行課題②④
折衝記録、財産調査、滞納処分等の滞納整理に係る情報を照会する画面がそれぞれに分かれており、折衝にあたって複数の画面を渡りながら確認する必要がある。

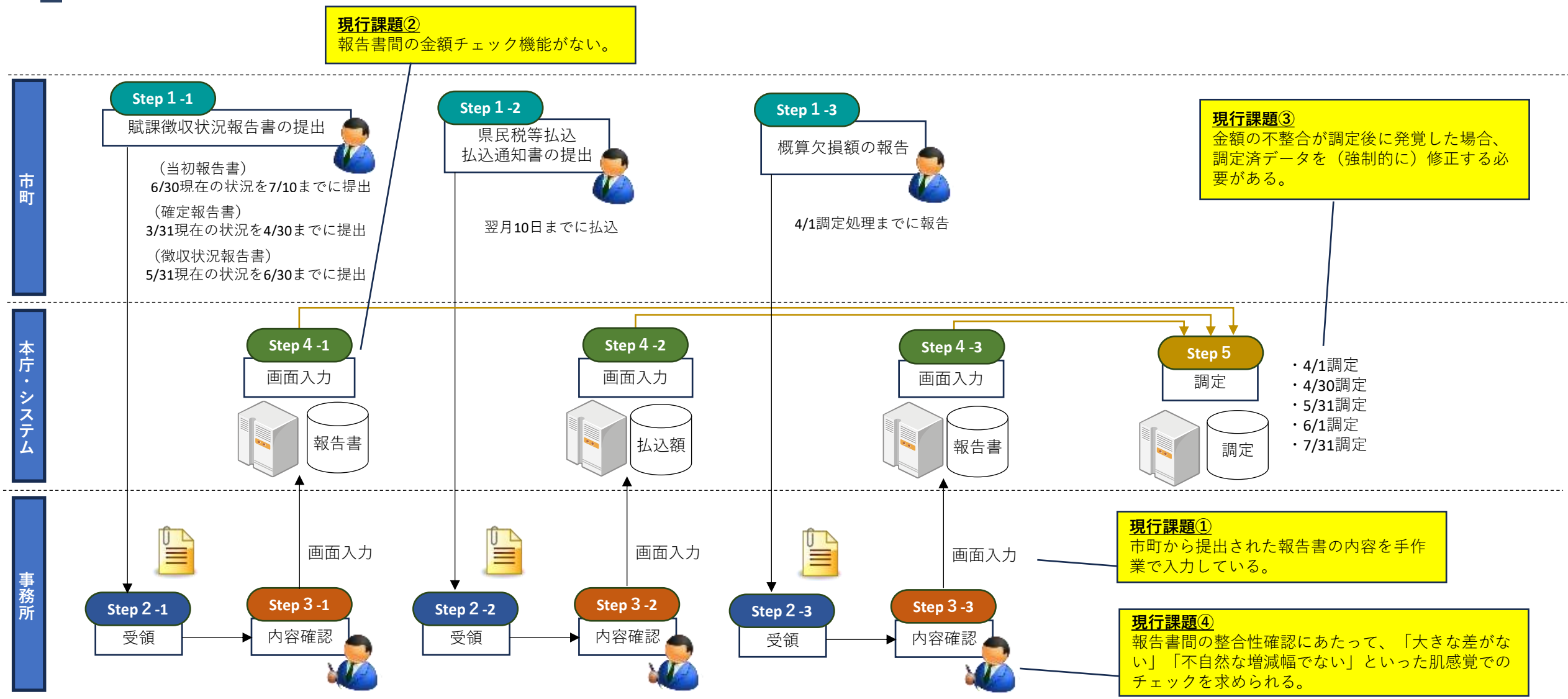
現行課題①③
折衝記録等を入力、閲覧する機能を実装しているが、機能が限定的（入力字数に制限がある、ファイル添付ができない等）であり、紙の小票を併用している。



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機10　個人県民税の賦課徴収状況報告の登録



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機10　個人県民税の賦課徴収状況報告の登録

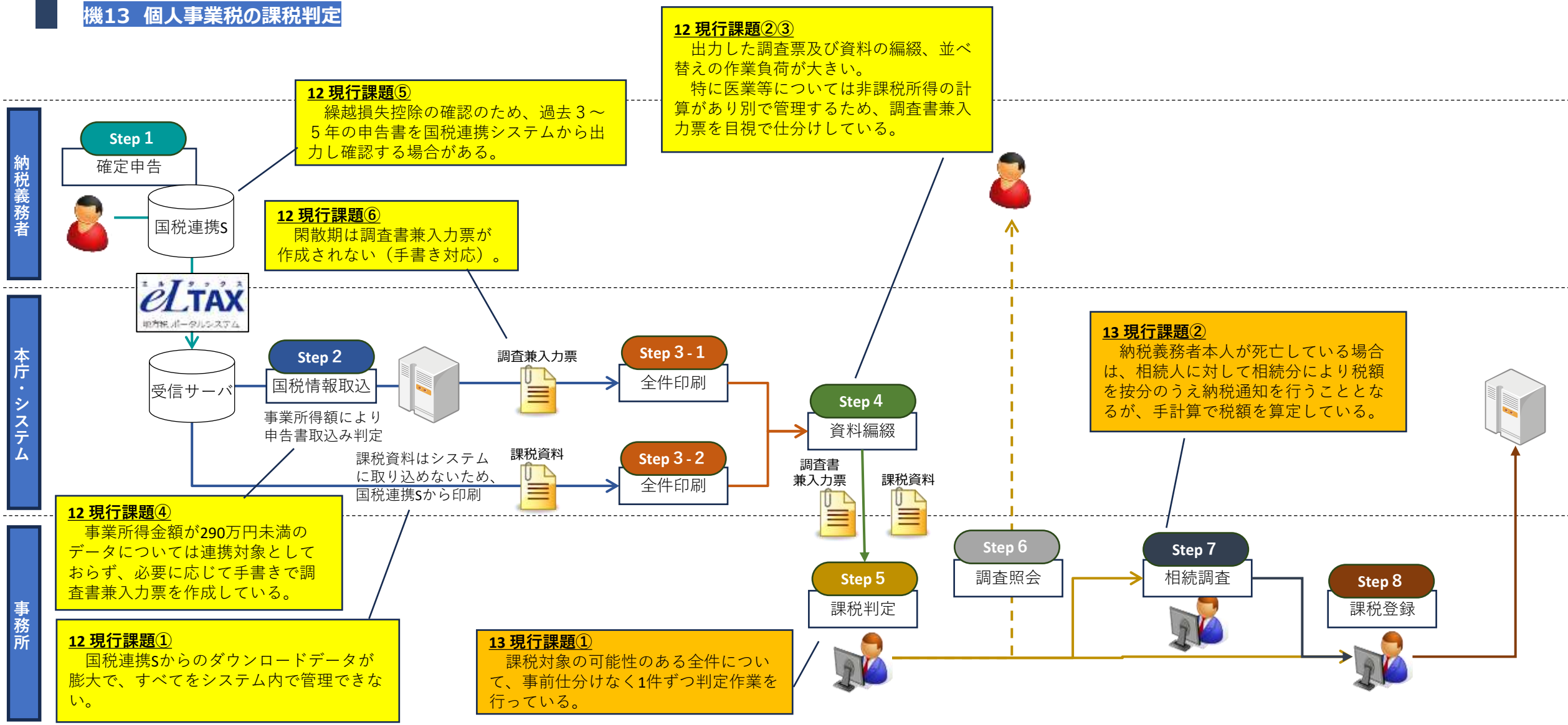
個人県民税の調定決議について

	区分	概　要	計　算　式	意　義
4月1日	現年度	特別徴収にかかる２ヶ月分の収入額		特徴分の４・５月分の調定
	滞納繰越	前年度滞納繰越分３月３１日現在における収入未済額	３月末調定済額－３月末払込累計額―３月末欠損済額	３月末の収入報告書（収報）の繰越分未済額を調定する。
4月30日	現年度	確定報告書による特別徴収にかかる２ヶ月分調定額の増減	確定報告書の④欄―当初報告書の⑤欄の差額	差額を調定することで、確定報告書の翌年度収入額欄に一致させる。（概ね減額・・・退職などで特徴→普徴があるため）
	現年度（前年度）	確定報告書による現年度分の増減	確定報告書の⑥欄―当初報告書の⑦欄の差額	差額を調定することで、確定報告書の本年度の収入となるべき額欄に一致させる。（増額調定・・・税務署による所得の更正、退職所得への課税など「随時調定」をカウントするから）
	滞納繰越	前年度滞納繰越分３月３１日現在における収入未済額	確定報告書の滞納繰越額―当初報告書の滞納繰越額	差額を調定することで、確定報告書の滞納繰越額欄に一致させる。
5月31日	現年度（前年度）	【確定報告書の修正に伴う再計算】	確定報告書の修正に伴う再計算（確定報告書の⑥欄と当初報告書の⑦欄の差額＋確定報告書の④欄と当初報告書の⑤欄の差額）－4月30日調定額	確定報告書に訂正があり、４月調定に間に合わなかった場合に行う。
	滞納繰越	【確定報告書の修正に伴う再計算】	確定報告書の修正に伴う再計算（確定報告書の滞納繰越額－当初報告書の滞納繰越額）－4月30日調定額	確定報告書に訂正があり、４月調定に間に合わなかった場合に行う。
6月1日	滞納繰越	現年分５月31日現在における収入未済額	調定額―払込額	
7月31日	現年度	本年度　現年度分賦課報告書（当初報告）による増	当初報告書の課税済額－翌年度の収入額（現年度調定済額）	
	滞納繰越		①＋②＋③－④の合計額 ①当初報告書の滞納繰越額 ②前年度滞納繰越分収入額（当該年度の繰越分として払い込まれた額は含まない 　前年度滞納繰越分精算分として４月１日以降に払い込まれた額＋ 　前年度現年分精算分として６月１日以降に払い込まれた額 ③徴収状況報告書欠損額－３月末概算欠損額（マイナスの場合は加算しない） ④６月末累計調定済額	県の収報の繰越調定累計額には、市町の前年度収入分（県の繰越で受けた４月収入と５月清算額（市町の繰越）及び６月収入（市町の現年度））と欠損額が包含されているため、市町の当初報告書の繰越額とは一致しない。

© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

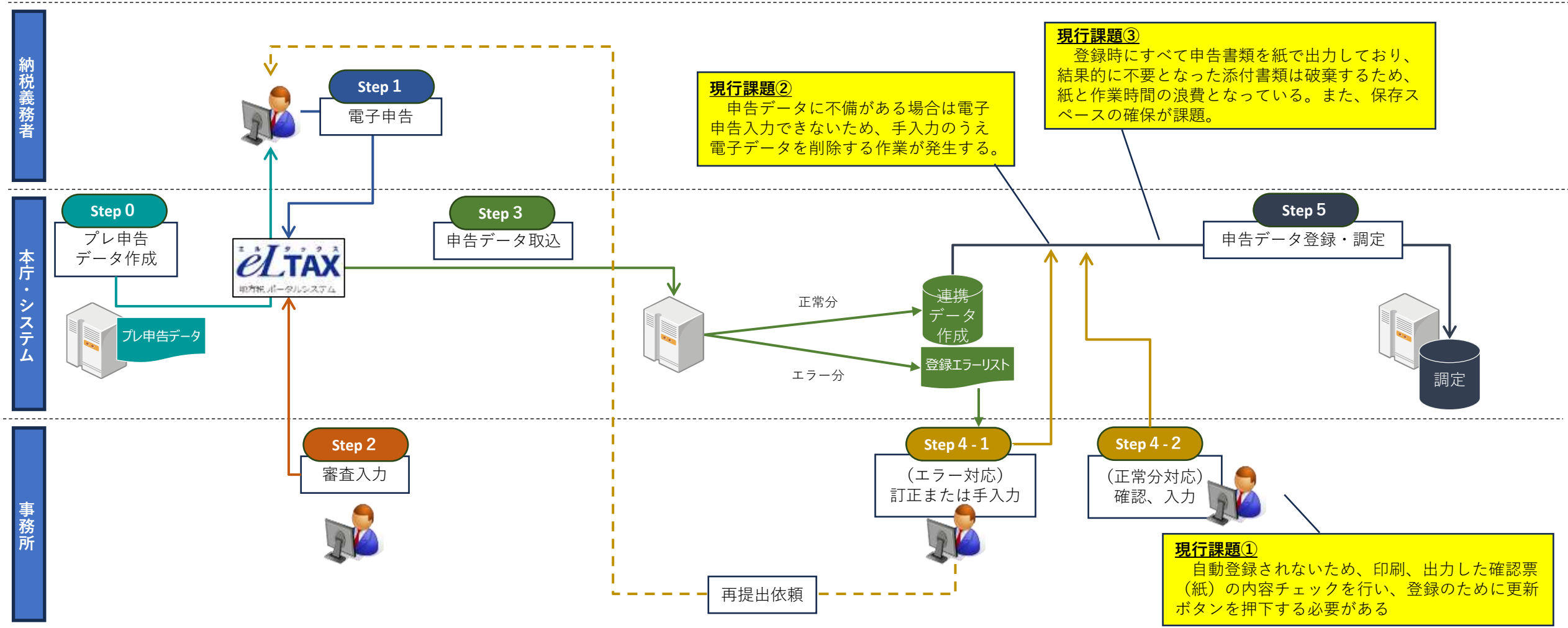
機12　個人事業税の賦課に係る調査票作成
機13　個人事業税の課税判定



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

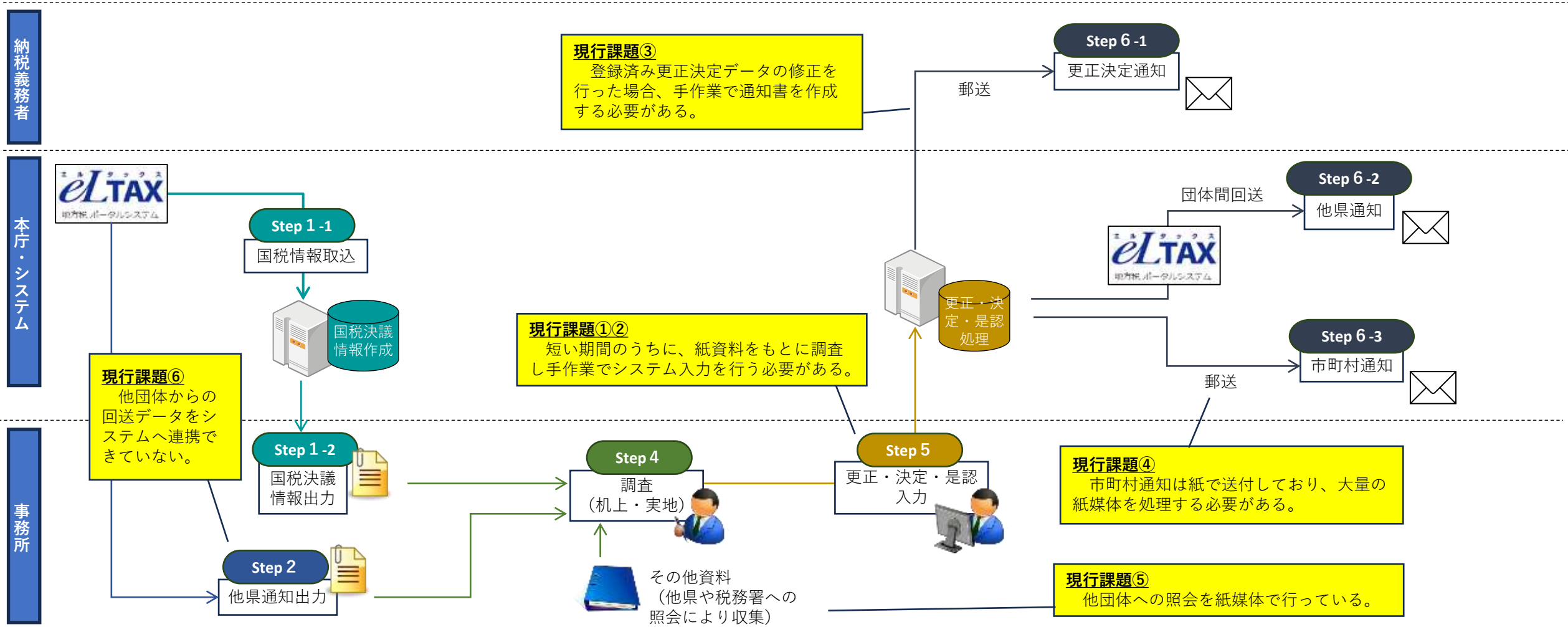
機14　法人二税に係る電子申告データ連携



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機15　法人二税の是認及び更正決定



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機16　不動産取得税の課税資料収集

現行課題④
法務局での登記申請書閲覧に人手と時間を要する。

現行課題②
登記情報連携システムから提供されるデータが膨大で、手作業でデータ選別や帳票作成ができない。

現行課題⑤
市町から提供されるファイルのフォーマットが一様でなく、整形加工が必要。

現行課題⑥
データ連携に対応していない。

現行課題③
マクロの保守が困難。

現行課題①
データ入力が手作業。

資料提供元

本庁・システム

事務所

納税義務者

Step 1
承継課税

Step 2
原始簡易課税

Step 3
原始本則課税

Step 4
課税（調定）

Step 5
減額申請等

法務局

登記情報

登記情報連携システム

写し取り
調査票補完

市町

不動産
評価情報

県・家屋評価班

家屋評価システム

家屋調査書

課税

納税通知書／
お知らせ通知書

調査票作成
（Excelマクロ）

RPA入力
ファイル作成

データ登録

データ登録

データ登録

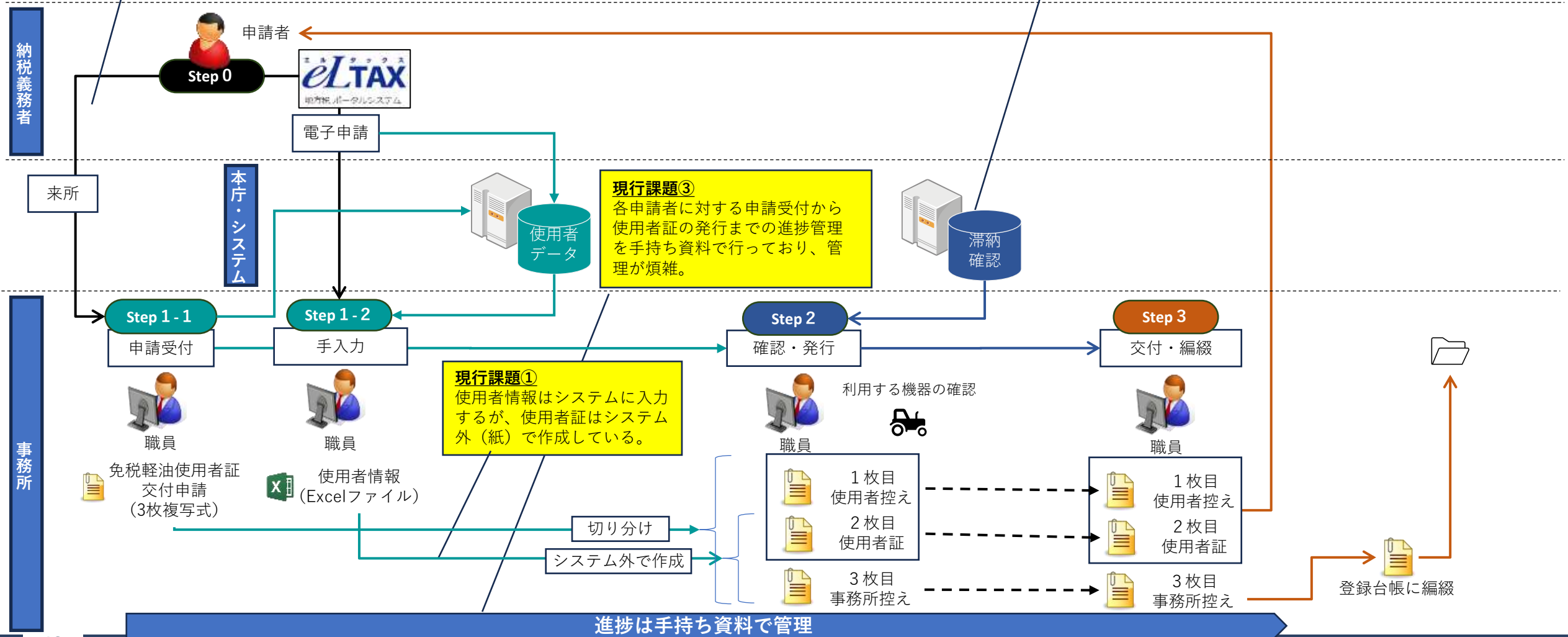
© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機17　免税軽油使用者証交付申請受付及び交付

現行課題④
特例措置の最終年度に使用者証発行の仮申請が集中し、作業負荷が一時的に増大する。

現行課題②
使用者証発行の際に、使用者の県税の滞納状況を確認する必要があるが、使用者情報を納税者情報と紐づけて管理しておらず、作業手順が多い。



現行課題③
各申請者に対する申請受付から使用者証の発行までの進捗管理を手持ち資料で行っており、管理が煩雑。

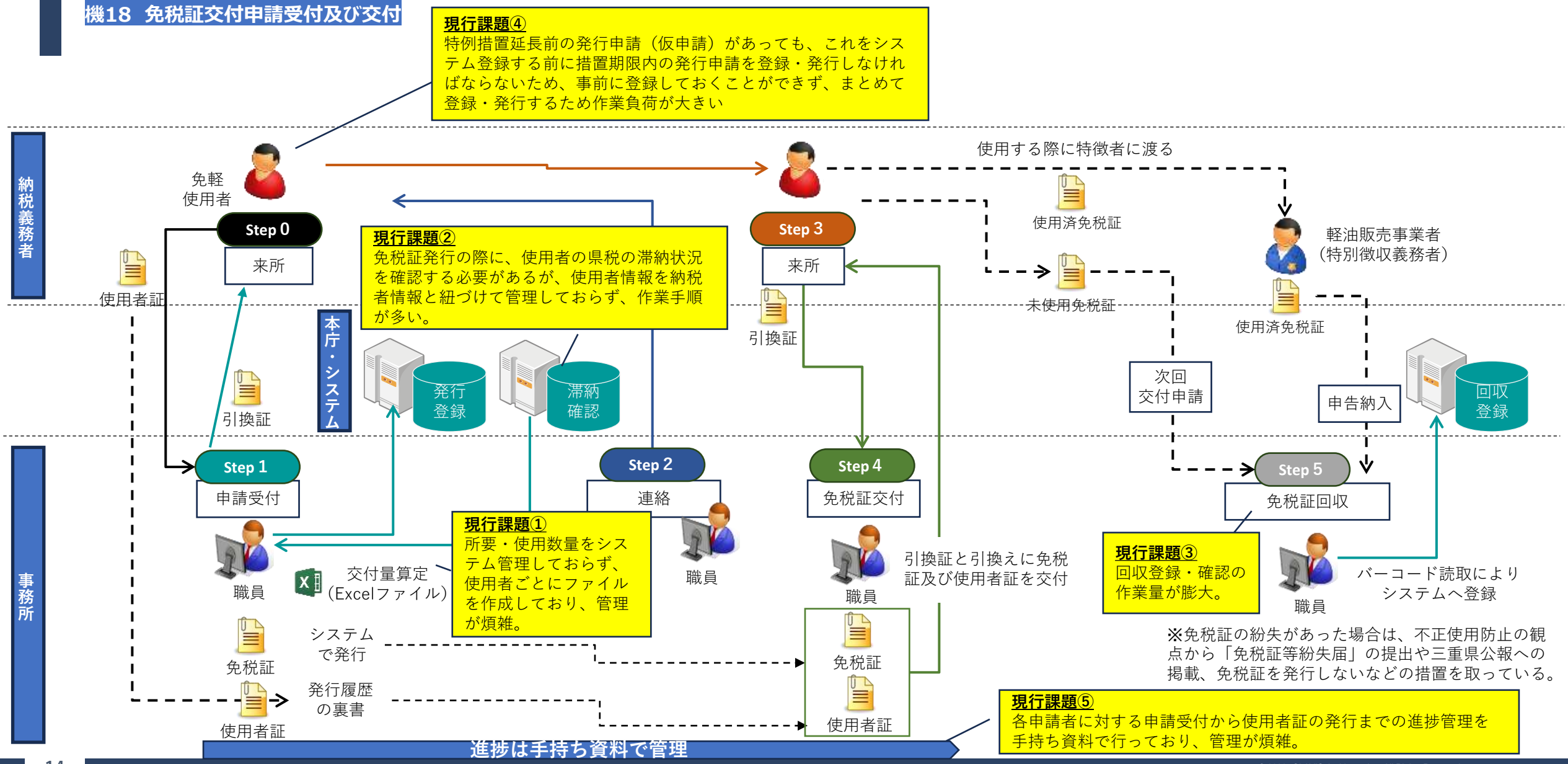
現行課題①
使用者情報はシステムに入力するが、使用者証はシステム外（紙）で作成している。

進捗は手持ち資料で管理

© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機18　免税証交付申請受付及び交付

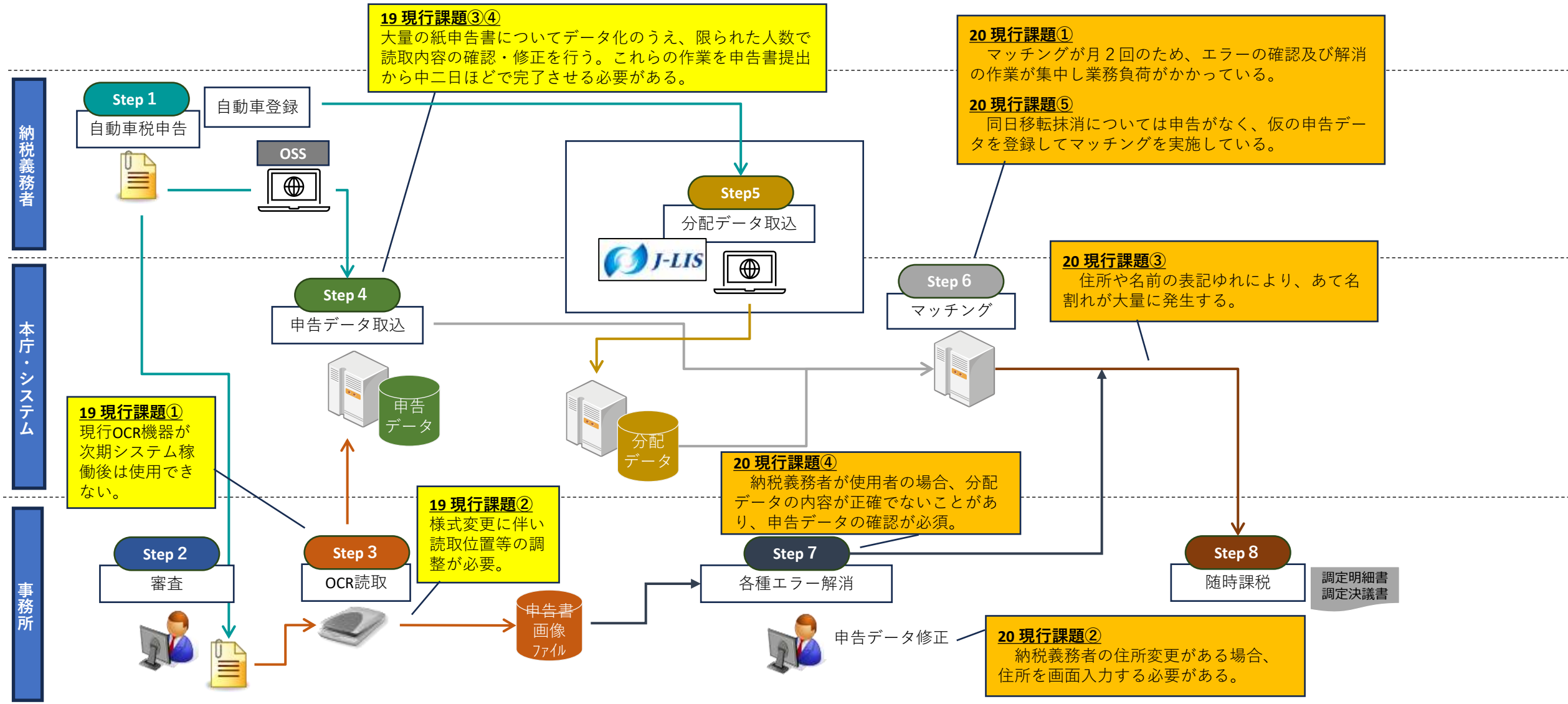


© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.

機能要件における提案依頼項目関連業務フロー

機19　自動車税申告書のデータ化

機20　自動車税申告書と分配データとのマッチング及び随時課税処理



© 2026 GLAVIS Architects Inc. All Rights Reserved.